

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/05		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587046102	科目番号 / Subject code	05870461
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14321_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (世界と日本の文化交流)COC+ / Cross Cultural Exchange Between Japan and the Rest of the World		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	野上 建紀 / Takenori Nogami, 賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	野上 建紀 / Takenori Nogami		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	野上 建紀 / Takenori Nogami		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nogami-takenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	総合教育研究棟11階 野上研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2919		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (メールにて要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	考古学の資料の中でも陶磁器は、最も多く出土するものの一つである。壊れやすく、再利用が難しいことから、廃棄されやすく、かつ土中や水中にあっても消失することなく残るからである。また、世界各地で生産され、それぞれの地域や時代を映す「鏡」となることから最も重要な資料の一つでもある。陶磁器を観察すれば各地域の文化や相互の影響関係も理解することができるのである。長崎県産をはじめとした日本の陶磁器も世界各地の需要に応えた時期があり、それは長崎から運ばれていた。陶磁器を通して、その背後にある文化交流を読み解き、日本と世界の関わりを理解できるようにすることが授業の目的である。		
授業到達目標 / Course goals	1. 世界に輸出された長崎県をはじめとした日本の陶磁器について説明することができるようになる。 2. 長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器が世界に与えた影響を説明することができるようになる。 3. 世界情勢で長崎県の波佐見焼などの日本の陶磁器の輸出が発展した過程を説明することができるようになる。 4. 日本 (特に長崎) と海外との関わりを示す考古資料を説明することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポート・小課題の提出状況 70点 (合計点を70点満点で換算)、最終試験 (あるいは最終レポート) 30点の計100点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	陶磁器、文化交流、水中考古学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜、プリントを配布し、教科書は使用しない。参考書は授業の進捗に応じて紹介する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業内容に関連する長崎市内の施設・遺跡の見学を授業の予復習とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	質問や相談は気軽に研究室へ (事前にメールをください。)		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業のオリエンテーション(講義全体の内容や取り組み方などを説明する。)
第2回	陶磁器と考古学(陶磁器に関する概説)
第3回	海のシルクロード概論(海を介した文化交流の概要を説明する。)
第4回	水中考古学概論(海のシルクロード研究において重要な位置にある沈没船研究の方法論を紹介する。)
第5回	沈没船からみた陶磁器貿易
第6回	長崎県の波佐見焼などの日本磁器の誕生
第7回	長崎県の波佐見焼などの磁器生産の本格化
第8回	長崎県の波佐見焼などの磁器の海外輸出の始まり(1)
第9回	長崎県の波佐見焼などの磁器の海外輸出の始まり(2)
第10回	海外輸出された長崎県の波佐見焼などの磁器(1)
第11回	海外輸出された長崎県の波佐見焼などの磁器(2)
第12回	海外輸出された長崎県の波佐見焼などの磁器(3)
第13回	戦争と考古学(1)
第14回	戦争と考古学(2)
第15回	陶磁器からみた文化交流(総括)
第16回	最終試験(あるいは最終レポート)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587046302	科目番号 / Subject code	05870463
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14331_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (芸術で見る世界と日本)COC+ / The World as Seen Through the Arts		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 維 / Wan Uei, 廖 赤陽 / Liao Chiyang, 賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	王 維 / Wan Uei, 廖 赤陽 / Liao Chiyang		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wangw nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	多文化社会学部 1号館 1階王研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2913		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (ただし、事前にメールで連絡すること。連絡先: wangw@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	地球に暮らすあらゆる民族は、異なる自然環境、言語や宗教或いは歴史や社会などの環境に対応し、周辺の民族と交流しながら、その社会でのアイデンティティに支えられた固有の祭礼、芸能や音楽をもってきた。民族音楽学や世界音楽などの見方から、東アジア地域を中心とする多彩な祭礼、芸能や音楽を通して様々な世界を見る視点を学ぶ。特に以前から外国文化(芸能・音楽)を受容してきた長崎の事例を紹介することで、地域から異文化交流の視点を理解する。		
授業到達目標/Course goals	芸術(祭礼・芸能など)で見る世界と日本というテーマに関する基礎的知識を習得する。 グローバルの視点から、多様な世界と日本を理解する。 異なる音楽文化を通して、広い視野から世界を見る能力を養う グローバルの視点から長崎地域文化の土壌の形成を認識できる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	試験及び課題レポートの得点統計に出席率を掛けたもので判定する。試験50% レポート50%。欠席した授業内容にかかるレポートの提出は受け付けない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	音楽、異文化交流、芸能、アイデンティティ、民族(エスニック)、長崎、地域文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	徳丸吉彦『民族音楽学』放送大学教育振興会、1991年。『民族音楽理論』1996年 藤井知昭他編『民族音楽概論』東京書籍、1992年 柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』音楽之友社、1999年 王維『日本華僑社会における伝統文化とエスニシティの再編』風響社、2001 山口修『応用音楽学』放送大学教育振興会、2000年 その他、随時紹介		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「すべての民は音楽的思考を行う」という言葉を聞いたことがありますか。この授業を通して世界、そして身近の社会を見るもう一つの見方を考えましょう
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	序説 東アジアの文化圏
第2回	理論編(1)音楽を見る視点：音楽学?比較音楽学?民族音楽学 などについて
第3回	(2) 諸民族の音楽様式
第4回	(3) 楽器のハードウェアとソフトウェア
第5回	(4) 伝承と記述(楽譜)について
第6回	地域編：比較の視点から (1) 中国・漢民族?歴史の概観、劇音楽
第7回	中国・漢民族?歌舞音楽と曲芸音楽(語り音楽)
第8回	中国・少数民族-多彩な芸能と音楽
第9回	(2) 日本の伝統芸能：歌舞伎と芝居小屋 中国の劇音楽と比較しながら...
第10回	(3) 朝鮮半島音楽の語り音楽
第11回	(4) モンゴル音楽の諸相
第12回	(5) 文化の伝播・受容・変容：西アジア起源とする楽器 (中国と日本)
第13回	移動・文化交流による音楽文化のグローバル化 (1) 世界に舞う獅子舞・龍踊り
第14回	(2) 世界に響く和太鼓
第15回	まとめ：
第16回	試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587046502	科目番号 / Subject code	05870465
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14341_005		
授業科目名 / Subject	文化の交流と共生 (アジアにおける人の移動と日本) / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	賽漢卓娜 / Saihanjuna		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Target students	2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saihanjuna nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総研棟11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2918		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(ただし、事前にメールで連絡すること。連絡先: saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	「グローバル化」の進展に伴い、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドを背負った人々は地球規模で移動しています。本授業では、「多文化化」を加速させた日本社会に焦点を当て、日本をめぐる「ヒト」の移動(=移住現象)への理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会の一員として「より広い視野」を持つようになること、2. 日本には多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドをもった人々の存在が理解できるようになること、3. 移民を取り巻く状況やその移動の理由・背景を学ぶこと、4. 「共に生きる(多文化共生)」可能性を見つけることを授業目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業参加(コメントシート、小課題、ミニレポートを含む) 50%、最終試験(あるいは最終レポート) 50点の計100点をもとに総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
キーワード/Key word	移動、移民、国家、エスニシティ、ジェンダー		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	授業では随時プリントを配布。適宜参考書を紹介。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	出席と予習・復習が不可欠。授業外学習に充てるべき時間は週平均2時間以上とする。実際の進展状況に応じて授業計画を変更する場合がありますので注意されたい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日常生活のある場面で外国人とよく出会う、といった身近な出来事にも常に注意を払っておくこと。新聞などに目を通し、移民がおかれている状況にアンテナを張っておくこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	【イントロダクション】
第2回	グローバル化における「移民の時代」
第3回	移動するということ?移動から場所を問う
第4回	移民政策と外国人の受け入れ
第5回	アジア域内の移民の展開と「移動の女性化」
第6回	九州地域の外国出身者への支援活動
第7回	【エスニックグループ】日系ブラジル人社会 <特別講師:本郷須美子>
第8回	【エスニックグループ】新華僑社会<特別講師:本郷須美子>
第9回	【エスニックグループ】フィリピン人社会
第10回	グループワーク:多文化共生の可能性
第11回	【ケーススタディ】外国人と再生産労働
第12回	【ケーススタディ】生活者としての結婚移住女性
第13回	【ケーススタディ】学校現場の多文化共生
第14回	【ケーススタディ】沖縄のアメラジアンを考える
第15回	まとめ
第16回	試験もしくはレポート提出